

福岡県に入庁して

八女支部 八女県土整備事務所 中川真実子

平成 29 年 4 月 1 日に福岡県に入庁して、約半年が経ちました。今回は、その半年間で私が経験したことや感じたことについて書かせていただきたいと思います。

○辞令交付式

初めてのスーツに、なれないお化粧をしてワクワク、ドキドキしながら県庁に向かったのを覚えています。会場についたら、そこにはすでにたくさんの大人(?)の方達がいる、全然同期とは思えない威圧感でした。すでに仲良くなっていた、高卒のみんなで固まってすごく緊張しながら辞令の交付を待ちました。前に辞令を受け取りに行くとドキドキしながら紙に書いてある文字に目を落とすと、「八女県土整備事務所」と書いてありました。私は、地元が筑後で、県職員を目指して勉強していた頃も「地元の事業に携わってみたい、ココ(八女県土)で働けたらいいな」と漠然と思っていたので、すごく嬉しかったです。周り的高卒組がそれぞれ、福岡県各地の県土整備事務所に配属になったのを確認して、みんなで「頑張ろう!」と気合いを入れて、私の県職員生活がスタートしました。

○八女県土整備事務所

辞令交付式の次の日には八女県土整備事務所に出勤し、私は道路課の県道建設係に配属になりました。係の皆さんからも、とても優しくして頂きました。席の配置を「わからないことがあったら周りに聞きやすいように」と真ん中にさせていただいて、いまだにすごく感謝していますし、本当に優しいなと感じます。そんな係の皆さんの足を引っ張らないように、お役に立てるように頑張ろうと強く思いました。

配属されてから初めて受け持った仕事は、道路を作る前の建物の事前調査でした。その時に初めて工事や委託業務を発注する時の手順やルール、設計書の作り方から、パソコンの使い方まで初歩の初歩から教えていただきました。わたしは、すべてを頭に叩き込むことなど到底できず、すべてをメモしてしばらくはそれを見ながら仕事をしていました。

その後は、いろいろな工事や委託業務を発注して、少しずつでも仕事に慣れていこうと必死に頑張りました。いまだに慣れてはいませんが、何度か検査も受け、そのたびに学ぶことが多くあるので成長はできているのではないかと思います。現在取り掛かっている業務も、道路の新設工事を、図面の数量から拾い上げて、積算を行う必要があります、これをやり遂げる事ができたらまた一つ成長できるのではないかと思います。

○研修

4 月から所属に配属されて、たくさんの研修を受けさせていただきました。

初めの研修では、県土整備部ではどういった事業を行っているのか、県の行政について、など福岡県についての知識を増やすことができました。

しかし、その後、専門的な研修が多くなってくると、もともと持っている知識が乏しいため、言葉の意味が分からずとても難しく感じてしまいました。実際にその業務に携わって「こういうことだったのか」気づくこともあって、やはり、初めに知識を蓄えておくことは、すごく重要なことだと感じました。

また、社会人としてのマナーや心構えなどの講義もあって、すごく心に留まったのが『新人 5 か条』です。①挨拶 ②ポジティブな言動 ③時間管理の徹底 ④メモを取る ⑤チームで成果を出す これらをいつも心にとめて仕事に取り組んでいます。①から④は一つ一つきちんと心がけていればできると思うので、これらを完璧にマスターして⑤に繋げていけたらいいなと思います。

○失敗

先日、大きな失敗をしました。私は、女性土木職の現場見学会に2つ申し込みをしていました。そのうち一つで発表を頼まれていて、了解しました。とお返事していたのですが、私のスケジュール管理不足で日程を間違えてしまっていました。当日、電話が入り「現場見学会今日だけど・・・」といわれ、頭が真っ白になりました。しかも、それが発表を頼まれていた見学会のほうで、すごく迷惑をかけてしまいました。係長からもお詫びの電話を入れていただいて、本当に申し訳なかつたですし、ショックでした。自分のスケジュールをきちんと管理していないと周りの方々にも迷惑がかかってしまうと痛感しました。『新人 5 か条』の③番の時間管理の徹底が不十分だったなと反省しています。今後はこう言ったことがないように努めていきたいと思います。

この半年間で今まで経験したことないことをたくさん経験しました。知らなかったこともたくさん学びました。今までの人生の中で最も濃い半年間だったと思いますし、今後も自分の中に残っていくと思います。しかし、これからの職員生活のほうが何十倍も長くいろんな経験ができると思うので、それを楽しみにこれからもたくさん成長して周りの上司の方たちのような職員になりたいと思います。